

各 位

党派を超えて国家的課題を追求する

**公益財団法人協和協会
時代を刷新する会**

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
環境技術委員長 坂 本 忠 彦
専務理事兼事務局長 清 原 淳 平

環境技術委員会のお知らせ (第331回)

日 時 平成28年12月20日(火) 午後1時半～4時

場 所 衆議院第一議員会館 地下1階 第3会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第3会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議 題 1、「環境問題について、昨今、思うこと」

挨拶 坂本忠彦環境技術委員長

2、わが国畜産業の科学的構造改革を提案する

—— 畜舎の衛生除菌化。健康な牛豚鶏を育てる ——

その実証方法と分析データの解説

解説 今村健二(株)オーレック代表取締役社長

データ説明 執行秀彦同社商品企画課長 ほか

シームス液について 横溝哲郎シームス企画代表

3、『環境技術関連ニュース NO. 156』

解説 中島稔科学技術部会長

報 告 去る11月24日開催の第330回環境技術委員会は、坂本忠彦委員長が議長を務め行われました。

まず、中島稔科学技術部会長より、『環境技術関連ニュース NO. 155』の解説がありました。今回は、○センサーや水中ロボットを駆使して

資源量を把握する実証実験がはじまった。コストのかかるボーリング調査の作業を減らせる。○ダイオキシンを95%除去する技術を確立。ベトナム戦争の枯葉剤による汚染土壌にて実験を行い確認できた。○レアアースの一種スカンジウムが小笠原諸島・南鳥島沖の海底に約15万トン存在することが分かった。○代替フロンに対する規制が強まる中、CO₂など自然冷媒を使った冷凍庫の需要が拡大している。などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

次に、坂本委員長より、「環境問題について、昨今、想うこと」と題してお話がありました。本日、雪が降りました。11月に東京に雪が降るのは54年ぶりということです。地球全体としては、温暖化傾向にあるものの、こういう気象現象も起きるのでしょうか。温暖化対策のパリ協定はこの11月4日から発動していますが、アメリカの新大統領となるトランプ氏が、温暖化に疑問を呈している点が大きな懸念材料となっています。

次に、清原淳平専務理事より、本日の講師の経歴紹介がありました。

次に、東京海洋大学水圏環境教育学研究室の佐々木剛准教授と、発明家の杉本幹生氏より「鉄炭を利用してヘドロを除去する技術」と題して、以下の主旨の解説がありました。杉本氏が発明した「鉄炭団子」は、炭素と鉄粉を密着させた成形物である。これを河川・湖沼に撒くと二価鉄イオンが発生し、水酸化鉄コロイドとなる。これが硫化水素と結合して悪臭を除去し、リンと結合してアオコの発生を抑制する。さらに微生物の活動が活発化するため、水質改善に効果があるものと考えている。また、二価鉄イオンが遊離溶出する際に電子を炭素に受け渡すので電力を得ることも可能である。河川・運河などで多くの実験を行っているが、特に信州大学の池で行われた実験では、濁っていた水が、1週間程度で、池の鯉が見えるほどに透明度が改善した。実験室において、鉄粉だけで実験すると1/20程度の効果しか得られないため、鉄+炭の相乗効果だと考えられるが、そのメカニズムの解明までには、まだ至っていない。

★当日会費千円にご協力お願い申し上げます。

次回、12月20日(火)の環境技術委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様のFAX _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。
新規参加希望者は、予め履歴書をご提出ください。

事務局宛 FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール shigeta@jidaisassin.jp